

## 支援プログラム名称

デジタル学園祭によるスタートアップ人材の発掘とマッチング

## 支援プログラム実施期間

令和7年5月1日 ～ 令和8年3月31日

## 支援プログラムの概要

### 支援プログラム対象事業区分

〈マッチング・共創機会の提供〉

大阪・関西万博メッセ会場で、経済産業省と共同で実施する「デジタル学園祭」を活用し、高校生、大学生、若手社会人のデジタル作品、技術、ビジネスプランの展示、発表会を実施し、学生・若手テック人材のビジネスアイデアや作品とそれを支援しビジネス等に繋ぐ企業とのマッチングを実施します。

デジタルスキルを使ってアイデアを形にした学生、若手テック人材が、起業する最初の一步を後押しすると同時に、大阪のスタートアップや企業の支援に触れることで、将来、大阪のスタートアップに就職し、事業開発に従事する契機となる機会を提供します。

学生が起業やプロジェクトに取り組む際の課題の中でも、ビジネススキルの不足（市場分析・収益モデル設計の経験がない）、チームビルディングの難しさ（エンジニア・デザイナー・マーケターなど必要な人材が揃わない）、プレゼン・発信力の不足（投資家や企業に効果的に伝えられない）を解決するため、企業・支援者とのマッチングによるビジネス化と学生同士のマッチングによるチームの強化を目的に、プレゼンテーションイベント、展示会、VCや支援機関等とのマッチング会の3つの企画を実施します。

資金調達の困難さ（開発・事業化の初期費用を確保できない）、実証実験・事業化の壁（企業や自治体と連携する機会が少ない）、法務・知財知識の欠如（特許・法人設立の知識がない）については、この課題を解決できる企業や支援機関とマッチングし、支援プログラム実施者がフォローすることで解決を図っていきます。

支援プログラム実施者が中心となって、オンライン・オフラインでのコミュニティ活動を実施し、合わせて、プロジェクト化支援を継続して実施します。

プレゼンテーションイベントの実施（万博会場）

展示によるマッチング（万博会場）

テック・クリエイターとVCや支援者等とのマッチング（うめきた会場）

オンライン・オフラインコミュニティの運営（事務局による継続支援）

申請額：100,000,000 円